

令和 7 年度議会報告会検証結果報告書

令和 8 年 2 月 9 日

佐野市議会議長 菅 原 達 様

佐野市議会報告会運営委員会
委員長 早 川 貴 光

1 改善又は検討を要する事項

- ・開催時間については、アンケート結果に『ちょうどよかった』7割を超えており、全体としてはおおむね良好な評価が得られている。
- ・議員による議会報告については、前年度に比べ「わかりやすい」といった肯定的な意見が過半数を占め、向上したが、会場サイズとの関係でスクリーンの文字が小さく見えにくいとの指摘もあった。
- ・意見交換については、一人当たりの発言時間を設定して実施したものの、評価が分かれており、発言時間の長さだけでなく、発言のしやすさや意見の拾い上げ方についても検討が必要である。
- ・開催周知については、議会だよりや議員からの案内が主な認知経路となっている一方で、若年層や子育て世代に十分届いていない状況が見られ、周知時期や方法について検討を要する。

2 令和 6 年度議会報告会の課題への対策等提案に対する実施状況について

対策等の提案内容	実施内容	取組
資料、プロジェクターの活用	カラーの資料及びプロジェクターを活用	達成
意見交換の改善	時間設定や行い工夫をした	達成
役員体制の見直し	委員主体で開催したが、作業量に偏重あり	要改善
YouTube の活用等	字幕付き動画をアップ予定	要改善

- ・プロジェクターを使用するとともにカラー印刷の資料を用意し、視覚的な説明を実施した。また、資料については、基本的に委員が中心となり独自で資料を作成することで理解を深め説明に説得力を持たせた。しかしながら、会場サイズが大きいこともあり遠い場所からは見えにくく、プロジェクターの文字が小さいとの声もあった。
- ・意見交換については、今回は意見聴取とし、一人当たり 3 分の発言時間を設定し、円滑な進行を図った。一方で
- ・意見交換のテーマについては、テーマ数を絞った上で、その後は自由に意見交換ができる形式を採用した。
- ・役員体制については、開催準備において業務の偏りが生じないよう役割分担の調整を

行った。しかしながら新任議員も多く、委員長の作業負担が増えていた。

- ・若い方への開催周知方法をさらに検討するために Youtube の活用等とあったが、現状は以前の動画と比較した場合、デザインを変え、字幕をつけた分かりやすい動画をアップするという取組しか行えていない。

3 課題に関する事項

① 報告会当日に関する事項

- ・参加者の年齢構成は、60代・70代が中心となっており、若年層や子育て世代の参加が少ない状況が引き続き課題である。
- ・参加の認知経路は、「議会だより」や「議員からの案内」が中心であり、SNS 等を通じた認知は限定的であった。
- ・意見交換の場においては、時間設定を行ったものの、より多様な意見を引き出すための工夫が必要である。
- ・報告会で出された意見について、その後の対応状況や進捗を分かりやすく示すことを求める声があり、フィードバック方法が課題として挙げられる。
- ・議会報告会の開催にあたり、アンケートや、検証結果報告書を活かしきれていなかった。
- ・意見交換の際に、個人的な意見を控えているものの、意見聴取への答弁に対しては個人的な意見を述べる場面があった。

② 報告会に開催準備に関する事項

- ・議会報告会の開催にあたり、アンケートや、検証結果報告書を活かしきれなかった。
- ・開催を実施するにあたり、新任議員も多いため、仕事の割り振りはできていたが俗人的な業務が発生した。

4 前号に係る対策等の提案

- ・議会報告会の開催にあたり KPI の設定が非常に重要であり、次回は設定していただきたい。
- ・若年層や子育て世代の参加が少ない状況を打破するためには、対象を絞った開催手法を検討する必要がある。
- ・参加の認知経路からポスターやチラシ以外の手法を検討する。

- ・今回の議会報告会は前年度の提案について試みたが、改善を必要とするものもあり、継続して協議を行う必要がある。
- ・スムーズな意見交換を行うためにも、運営規則の見直しを検討すべきである。
- ・現状の開催方法では俗人的な業務が発生するため、今回と同じような報告会を開催することは非常に難しいため、新たな方式も検討されたい。

5 その他、委員会において必要があると認める事項

- ・なし